

Rotary



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2016～2017 年度 高山中央 RC 会長テーマ

「情熱と友情そして・・・永遠に」

人類に
奉仕する
ロータリー

◆会長 田中 雅昭 ◆幹事 中田 学 ◆会報委員長 津田 久嗣 ◆会報担当 井ノ下 雄志

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	会長支持率
本日 1124 回	59 名	58 名	46 名	—	79.31%
前々回 1122 回	59 名	58 名	46 名	0 名	79.31%

<点 鐘> 会長 田中 雅昭
<ロータリーソング> それでこそロータリー

<会長の時間> 会長 田中 雅昭

皆さんこんにちは。

本日は出席/プログラム委員会の担当例会です。昨日 11 日、12 日の二日間 PETS にて勉強されてみえた次年度会長の中田専太郎さんに、次年度の抱負を大いに語って頂きたいと思います。昨年の今頃は会長テーマや会長方針等を練っていた時期でもあり、地区大会に向けいよいよ本格的に動き始めていたのかな、とかと思いますが、本当に時の過ぎるのは早いものです。少し寂しい気持ちにもなりますが、中田会長エレクトさんにはこれから一年張り切って我が中央ロータリーを牽引して頂きたいと思ひます。



さて、本年度の日本生産性本部が発表した平成 28 年度新入社員のタイプは「ドローン型」だそうです。強い風にあおられはしたが、自立飛行し目的地（希望の内定先）を確保できた者が多かったのだそうです。ドローンは夜間飛行（深夜残業）や目視外飛行は規制されており、ルールを守った運用や使用者の技量も必要なのだそうです。新入社員は「残業が少なく、自分の時間が持てる職場が良い」と言っています。イチブツグループでは十代二十代は可愛がられ、三十代四十代は信頼され、五十代六十代は尊敬される人になれ、そして七十才を過ぎたら人生を謳歌せよ・・・それが志事（こころざすこと）と言われております。新入社員には己を鍛えさせ、決して楽を覚えさせず、落伍者にさせず、いずれ指導者になる為の教育をさせたいものです。

さて会長支持率やいかに！！

<幹事報告> 幹事 中田 学

◎R I 本部より

・ザ・ロータリアン誌

◎国際ロータリー第 2630 地区

ガバナー事務所より

・2017-18 年度短期派遣青少年
交換学生募集のご案内

○高山ロータリークラブより

・例会休会のお知らせ

4 月 13 日（木）休会 定款により

<出席/プログラム委員会>

会長エレクトの時間

中田 専太郎

昨日高山の地では「零宮祭」が盛大に行われました。都竹さんをはじめ皆様本当にお疲れ様でした。自分も見に行きたいと考えていたのですが、昨日まで伊賀上野の地で、地区ロータリーの会議であります「PETS」が実施されておまして、そちらに出席していましたので叶いませんでした。零宮祭が大成功裡に終えられたということで、大変おめでとうございます。

さて、只今申し上げました「PETS」についてですが、正式名は「会長エレクト研修セミナー」と申します。以前は 1 日のセミナーだったのですが、劔田ガバナーの時代から「もっとじっくり研修しないと会長としての見識が備わらないし、地区ロータリアンとしての懇親が深まらない」という事で 1 泊 2 日間のカリキュラムで、1 日目は午後 6 時まで 2 日目は早朝よりじっくりと研修を受けてくる事が出来ました。

お蔭様で 2 日目の全工程が終了した所で「研修修了書」をいただく事が出来ました。こちらがその修了証明書です。大変嬉しくて幾度も眺め入ったわけですが、よくよく眺めた後に気付いたのですが名前が違っていました。新しいものを送付して下さいという事でした。

さて、「PETS」には土曜日の朝、劔田ガバナー、地区米山記念奨学委員長の村瀬氏、地区青少年育成小委員会委員長の下田氏、それに私の 4 人で高山を出発しました。

劔田ガバナーはガバナーとして、村瀬、下田両氏はそれぞれ委員会の思いを我々に伝える立場で、そして私は研修生



として同乗しました。行きの車中でいろいろな話をする事が出来ました。

研修会の1日目の総論的な話に続きまして、懇親会があり、懇親会後は…。翌日も早いということもありホテルに籠もって寝てしまいましたが、翌日は朝から各委員会の分科会がありました。

順番では、分科会の話は後ほどという事になりますが、本日村瀬委員長が早退されるという事ですので、その前に分科会のお話からさせていただきますと、まず村瀬米山記念奨学委員長のお話は、資料に基づいた非常に的確なものであり、また本部のデータベースから自ら集めた各クラブの寄付金一覧表は、まさにグーの音の出ないほどの説得力を持っておりましてここでご報告しておきます。

その後、下田青少年育成小委員長がパワポを使いながら「出前講座」の説明をされましたが、これも非常に熱のこもったものでしたし、「出前講座」に対する地域クラブの注目度がいかに高いかも良くわかりました。現在地区の40%ほどに浸透しているということで、まだまだ伸びしろがあるということでもございますので、下田委員長にはぜひ頑張らせて定着させて頂きたいと思っております。

劔田ガバナーの話が後々になって恐縮ですが、冒頭の挨拶



でガバナーが申された、天皇と内閣総理大臣は非常に理解しやすいもので、流石は劔田ガバナーとここでも感銘を覚えました。

さて、2日目の会長エレクトセミナーでは、まだまだうろ覚えではありますが、会長として多くの考えなければならぬことを知ることが出来ました。

現在ロータリークラブの会員数は、欧米や日本では減少傾向にありますが発展途上国や新興国では増加傾向にあるということです。

欧米や日本について考えると、減少しているからといって短絡的にロータリークラブが会員や世間にとって必要の無いものか？と言えば決してそんなことはありません。社会が成熟すればするほど、だからこそ弊害というものが様々の形で湧き上がってきますが、それを是正するためにロータリークラブのような奉仕団体は必要なひとつです。ただ必要なものであり続けるためには、ロータリークラブそのものが良い意味で変わっていく必要があるのではないのでしょうか？

それは次期 RI 会長のイアン・ライズリー(オーストラリア)も、「Rotary : Making A Difference」という言葉で提唱されております。和訳すると「ロータリー：変化をもたらす」

手放しで衰退させるのではなく、我々は手も加えて進展させていきましょう。

<ニコニコBOX>

先週、御上による年功とりたでの取り調べがありました。租庸調すべてに於いて御国に貢献していると自負しておりますが、多少の疑をつかれ修正することに。会計士さんの仰せの通り納税している一小市民にとってロータリーのバッジよりも日本会議のバッジが欲しい今日この頃です。
篤塚 英雄

前回は、誕生日祝いをありがとうございました。3/14 は妻の誕生日できれいなお花が贈られてくると思っておりますのでありがとうございます。
久々野国良

明日より劔田ガバナーご夫妻のお供してR I 第 3600 地区(ソウル)の地区大会に参加して来ます。帰ったら報告します。
伊藤 正隆

いつもスイマセン。ありがとう。

高原 武夫

本日は、委員会でお集まり頂きながら遅れてしまい申し訳ありませんでした。先輩方々のご意見を頂き何か例会の準備が出来そうです。出席頂いた皆様ありがとうございました。
高橋 厚生

お陰様で無事「雫宮祭」を終了することが出来ました。ありがとうございました。
都竹 太志

前回、急用のため早退しました。すいません。黒地 重雄

本日、行事のため早退します。

西倉 良介